



*Sagami Women's University*

# 後援会会報

March.2024 No.58



相模女子大学 後援会  
相模女子大学短期大学部

後援会会報 第58号

発行日/2024年3月27日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会  
編集責任者/後援会事務局

住所/〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話/042-747-9067

## 目次

後援会より…………… 1～2	学修上(履修・成績)の留意点／保健センターより／学生相談室より／2024年度出願可能な奨学金制度のご案内／2024(令和6)年度学年暦(大学)(短大)
2023年度役員会報告／相生祭「後援会活動紹介コーナー」開催報告／2023年度事業報告／「卒業記念パーティー」開催報告／卒業記念品として化粧筆(熊野筆)をプレゼント	
2023年度「オンライン報告会(就職編)」動画配信について…3	
就職支援課より……………4	後援会で助成している学生の活動紹介 …… 7～8
就職トピックス／就職支援Q&A	地域活動(糸島プロジェクト・復興支援学生ボランティア委員会)／大学祭実行委員会活動／クラブ活動(アーチェリー部・ダンスクラブEASTER・かるた部)
学修・生活支援課より …… 5～6	2023(令和5)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧 ……9
	2023(令和5)年度 科学研究費助成事業採択状況 …… 10

## 後援会より

### 2023年度役員会報告

日時:2023年7月15日(土)13:00～14:00

**常任理事会** (対面形式で実施)

- 議事 ①2023年度就職懇談会オンラインの内容について(提案)  
 ②2023年度相生祭の対応について(提案)  
 ③2023年度予備費の使途について(提案)  
 ④2023年度春学期卒業式について(提案)  
 ⑤2023年度防災セット配布方法について(提案)  
 ⑥6月11日実施の教育懇談会「学科毎の懇談会・教育個別面談」について(報告)  
 ⑦防災セット配布(報告)  
 ⑧2023年度新役員について(報告)

日時:2023年7月21日(金)～7月27日(木)

**理事会** (書面形式で実施)

日時:2023年9月23日(土)9:30～10:10

**常任理事会** (対面形式で実施)

- 議事 ①後援会常任理事会及び理事会における意思表示書の導入について(提案)  
 ②後援会会則の一部改正について(提案)  
 ③相生祭の対応について(提案)  
 ④教育懇談会オンライン及び就職懇談会オンラインの名称変更について(提案)  
 ⑤卒業記念品について(提案)  
 ⑥卒業記念パーティーについて(報告)

日時:2023年9月23日(土)10:30～11:28

**理事会** (対面形式で実施)

日時:2024年2月10日(土)9:30～10:13

**常任理事会** (対面形式で実施)

- 議事 ①後援会諸規程の一部改正(案)について  
 ②2023年度 事業報告(案)について  
 ③2023年度 予算執行状況及び今後の執行計画(案)について  
 ④2024年度 後援会行事日程(案)について  
 ⑤2024年度 後援会会報(案)について  
 ⑥2024年度 教育懇談会(学科毎の懇談会・教育個別面談・オンライン報告会(教育編))の開催(案)について  
 ⑦2024年度 オンライン報告会(就職編)の開催(案)について  
 ⑧2024年度 事業計画(案)について  
 ⑨2024年度 概算予算(案)について  
 ⑩2024年度 新役員の募集状況及び役員改選(案)について  
 ⑪その他

日時:2024年2月10日(土)10:30～11:37

**理事会** (対面形式で実施)

### 相生祭「後援会活動紹介コーナー」開催報告

今年度は、公益財団法人かながわ健康財団との共催で実施しました。

日時:2023年11月3日(金・祝)、4日(土)10:30～15:00

**「後援会紹介コーナー」 「健康促進コーナー」**

後援会の活動に関する展示、オンライン報告会(教育編)の動画上映等

子宮頸がん及び乳がん予防のトーク・相談、「がんを見て、触って、考えよう」クイズ、肌年齢又は血管年齢測定等

「後援会活動紹介コーナー」の来場者は、2日間で延べ350名を超え、保証人・学生の皆様との良い交流の場となりました。また、ご来場の方には大学の模擬店等で使用できる補助券(100円分)をプレゼントし、模擬店の販売促進に寄与しました。



## 2023年度事業報告

### 相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

#### ① 教育研究活動の充実を図る

後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入し、さらに、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続しました。

#### ② 学生の福利厚生を充実を図る

クラス会開催費として、経費の一部を補助しました。また、卒業式当日に卒業記念品である化粧筆を贈り、卒業記念パーティーを開催しました。

#### ③ 学生の課外活動の充実と活性化を図る

クラブに対し、活動に必要な用品の購入を助成しました。

#### ④ 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する

課外活動の分野で顕著な活躍をした個人と団体を大学が顕彰することに伴い、卒業式で副賞を授与しました(2023年度課外活動奨励賞の受賞者並びに表彰内容・理由はP.9に掲載)。

#### ⑤ 学生の就職活動を支援する

就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成しました。

- ・低学年向けキャリアガイダンス
- ・公務員試験対策オンデマンド講座
- ・就職特訓講座【基礎編】【実践編】 等

### 刊行物(PDFでの電子発行)について

会報57号を2023年9月に発行、会報58号を2024年3月に発行(今号)し、後援会ホームページに掲載しました。

### 災害対策助成費について

地震等の災害に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット」を765セットを購入しました。

### 弔慰費について

会員のご不幸は、大学7名でした。会則により弔意を表しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### その他

学習支援助成費より、11号館情報システム課の前にパソコン返却用ロッカー(窓口時間外返却用)を設置するとともに、中央執行委員会主催によるテーブルマナー講座の費用の一部助成を行いました。また、予備費より、オンライン面接用PC機材の導入、就職支援課内の個別面談スペース及び学修・生活支援課の個別面談スペースにパーテーションの設置を行いました。

4年ぶりに開催した卒業記念パーティーの助成を行いました。

## 卒業記念パーティー開催報告

日時:2024年 3月8日(金)

第一部/13:00～14:30 第二部/16:30～18:00

「大学で過ごす最後の時間を楽しく過ごしていただきたい」という後援会の思いが伝わる和やかなパーティーで、500名以上の卒業生が参加され、多くの笑顔が見られました。



後援会から

卒業記念品として  
化粧筆(熊野筆)をプレゼント

昨年度ご好評いただいた化粧筆(熊野筆)を卒業生に贈呈しています。新しい環境でのご活躍を祈念いたします。



# 2023年度 「オンライン報告会(就職編)～昔とは違います!今どきの就職活動～」 動画配信について

毎年ご好評をいただいている「オンライン報告会(就職編)」の動画を今年度も公開しました。オンデマンド配信ですので、ご都合の良いお時間にご視聴いただけます。保証人の皆様、また学生の皆様もこの機会にぜひご覧ください。



「内定獲得者へのインタビュー」動画撮影の様子



報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」動画撮影の様子

## 開催概要

動画配信期間

2023年11月29日(水)～2024年11月予定

配信内容

### ① 学長メッセージ

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

### ② 講演「現在の就職活動とは～保護者ができる効果的な関わりとは～」(約50分)

講師：株式会社マイナビ キャリアサポート関東ブロック長 三浦 恵美氏

### ③ 内定獲得者へのインタビュー(1名につき約20分)

- 日本語日本文学科 4年 ……塚田 理湖
- 英語文化コミュニケーション学科 4年 ……廣末 冬美子
- 子ども教育学科 4年 ……小池 紗也華
- メディア情報学科 4年 ……野下 柚奈
- 生活デザイン学科 4年 ……千田 華凜
- 社会マネジメント学科 4年 ……根本 愛梨
- 人間心理学科 4年 ……草野 花怜
- 健康栄養学科 4年 ……渡邊 歩実
- 管理栄養学科 4年 ……菅原 亜実
- 食物栄養学科 2年 ……井上 奈美
- (公務員合格者)社会マネジメント学科 4年 ……油井 美南

### ④ 編入学決定者へのインタビュー(約10分)

食物栄養学科 2年 ……知久 陽香

### ⑤ 報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」(約35分)

報告者：夢をかなえるセンター 就職支援課長 武石 聡子

※保証人の方の就職個別相談は適宜行ってあります。

ご希望の際は、就職支援課まで直接ご連絡ください。

問い合わせ先 就職支援課 042-742-1734

## インタビュー内容(抜粋)

### Q. 今やっておくべきことはありますか？

●興味のあることや夢や目標に向かって、それらに関するいろんなものにチャレンジすることをお勧めします。授業や実習が忙しいと思うのですが、長期休み等をうまく活用して(就活イベントに)参加することで、自分の向き不向きが分かると思います。例えば今、興味があるものがなかったとしても、友達の誘いでもいいので参加すると、自分についての理解が深まると思います。時間をうまく活用して、いろいろな楽しみながらチャレンジしてみてください。

### Q. 就職活動をする上でのアドバイスをお願いします。

- 大切なことは沢山内定を取るのではなく、自分に合った企業を見つけることだと思っています。自己分析などを通して自分自身と向き合って、他人と比べることなく納得のいく就活をしてほしいなと思います。
- 「自分がやりたいことがわからない」や「自己分析が思うようにいかない」など困ってしまうこともあるかと思いますが、そんな時は一人で思い悩むのではなく、身の回り的人や先生、キャリアアカウンタの方々に相談してみてください。就活ではやることや考えることも多く大変だと思います。そのような時であるからこそ、困った時は無理せず周りの力を頼って頑張ってください。応援しています。

## 動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「オンライン報告会」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。

URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

※同URLより「オンライン報告会(教育編)～輝くサガジヨ生に会いたい!!～」もご視聴いただけます。

後援会事務局 042-747-9067  
Mail: kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp  
開室時間: 10:00～18:00(月・水・金)

# 就職支援課より

問い合わせ先

就職支援課 042-742-1734

## 就職トピックス

### 就職準備講座(秋学期)

(対象) 大学3年生、短期大学部1年生

9月21日～10月26日までの毎週木曜日に「就職準備講座」を実施しました。春学期に引き続き全てZoomでの実施でしたが、残念ながら春学期と比較して出席率がやや低く、就職活動に対する学生の意欲継続に課題が残るものとなりました。しかしながら、講座に参加した学生からのアンケート結果を見る限り、出席者の満足度は得られていることから、今後も学生のニーズを見極めながら、充実した内容の講座を提供していきたいと考えています。

具体的な実施内容としては、秋学期以降の就職活動の進め方、自己分析【完結編】、面接対策、企業説明会の聞くべきポイント、内定者の就活体験などを行いました。特に内定者の就活体験を聞く回では、様々な質問が出され出席している学生の就活に対する意欲がさらに高まった様子が見られました。

### オンライン&対面企業研究会

(対象) 大学3年生、短期大学部1年生

11月～2月末にかけて合計10回、本学の学生を採用したいと考えている企業の採用担当者から、業界の特徴や企業の魅力についてお話しいただく「企業研究会」を実施しました。

11月、12月はZoom、2月は対面での実施でした。対面での実施はコロナ禍以降久しぶりの開催となり、多くの学生たちが参加してくれました。初めて企業の方とお話をする機会となった学生も多く、緊張した面持ちの様子でしたが、積極的に質問するなど充実した時間を過ごすことができました。

各企業より、インターンシップの紹介をいただいているので、多くの学生たちのインターンシップへの参加を期待しています。特に現在の大学3年生および短期大学部1年生からは、インターンシップの在り方が変わり、採用に直結するインターンシップが解禁されたので、学生には積極的にインターンシップに参加するよう働きかけを行っています。

### メイク講座

(対象) 大学3年生、短期大学部1年生

インターンシップや採用の本選考に向けて、就職活動に適したメイクや髪型を学ぶ講座となっています。普段からメイクをしている学生も、自己流のメイクではなく就職活動用のメイクを学べる講座です。当日は、プロのメイクアップアーティストの講師から、お勧めの手ごろな価格帯の化粧品を紹介してもらい、メイクや髪型について実演を見ながら学ぶことができました。

当日は多くの学生が参加し、質疑応答の時間帯には多くの質問が寄せられ、学生の関心の高さが伺えました。また、講師からひとつひとつ丁寧な回答をいただくことができ、学生たちの満足度の高い講座となりました。

## 就職支援 Q&A

2025年卒(現大学3年生、短期大学部1年生)の就活は、6月から選考開始というスケジュールが基本的となっておりますが、オンラインを併用したスタイルの採用活動を取り入れる企業も少なくないと予想されます。一方、一定数の企業の選考は、6月以前から前倒して進んでいくところもあるので、しっかりと情報を入手し、早めに行動を起こすことが必要となります。今回、就職活動について多く寄せられるご質問について、Q&A形式でご紹介いたします。

Q. インターンシップ、仕事体験(名称は各企業で異なる)には参加した方がよいでしょうか。

A. 近年は、企業によるインターンシップ・仕事体験の実施が定着し、これに合わせて就活生一人あたりのインターンシップ・仕事体験の参加社数も年々増加しています。就業後のミスマッチを防ぐためにもインターンシップ・仕事体験を活用し、企業理解を深めてもらいたいと思います。もちろん、授業との兼ね合いを調整する必要があります。あくまでも授業が優先であることを念頭において参加するように、就職支援課では指導をしています。

Q. 「ガクチカ」がなく、書けないと悩んでいるようです。

A. 「ガクチカ」とは「学生時代に最も力を入れたこと(がんばったこと)」の略称で、多くの企業の選考時に問われる定番の質問となっています。企業は学生に「ガクチカ」を聞くことで、その頑張った過程でどのような考え方や思考力を持って取り組んできたのかを見ています。そのため、学生は過去の自分の実績(エピソード)を示し、そのうえで「だから入社したらこんな風に活躍できます」ということを企業側に伝える必要があるのです。しかしながら、学生は「アピールできるほどの力を入れた取り組みがない」と考えがちで、そのため自分には「ガクチカ」がないと考えてしまうことが多いようです。確かに、インパクトの強い取り組みの方が目を引くことがあるかもしれませんが、企業が知りたいのはそこではなく、その取り組みをどのような姿勢で取り組み、どのような力を得たかということです。企業によって採用したい人物像は様々ですし、インパクトの強さがすべてではありません。自己分析をして自身が取り組んだことを一つひとつ思い出してみることが大切です。もちろん、就職支援課でもいつでも支援をしていますので、書けないと悩んでいるときは、就職支援課に相談に行くようにお伝えください。

Q. グループディスカッションについて教えてください。

A. グループディスカッションとは、学生を数人のグループに分け、与えられた課題についてグループで議論し、制限時間内に結論を出していくものです。企業によっては、結論をグループごとに発表させる場合もあります。テーマは「無人島に一つだけ持っていけるとしたら何を持っていくか」というようなものから、ビジネスに関するものまで様々なものがあります。グループディスカッションでは、議論の過程で各々がどのような役割を果たし、どれだけチームに貢献できるのかが評価のポイントとなります。一人ずつ評価されると同時に、グループ全体でも評価されます。個人戦ではなく団体戦の気持ちで臨むことが必要となります。就職支援課では、一人では対策できないグループディスカッションについての対策講座や実戦形式のセミナーを多々設けています。多くの学生の参加をお待ちしています。

## 学修・生活支援課より

### 学修上(履修・成績)の留意点

履修登録の際には、所属する学部学科および資格課程において定められている履修方法、各授業科目のシラバスを参照しながら履修計画をたてます。各セメスターで履修登録できる単位数は24単位で、年2回履修登録期間があります。履修登録はWeb上で行います。履修登録をしていないと授業に出席していても評価対象となりません。学生には履修登録確認日に、必ず学生ポータルサイト「Smile Sagami」で、登録状況を確認するよう指導しています。また、進級(栄養科学部のみ3年次への進級要件あり)、卒業の

ためには各学科で定めている授業科目や単位数を修得しなければなりません。同一学科でも入学年度(カリキュラム年度)によって進級や卒業要件が異なります。詳細は「Student Handbook」で確認できます。

なお、成績は「Smile Sagami」で発表します。保証人宛には「成績通知書」をお送りしています。

問い合わせ先 **学修・生活支援課**  
**042-813-5069**

### 保健センターより

学生のみなさんに健康でいきいきとした学生生活を過ごしていただくため、健康に関する相談に応じています。体調を崩したとき、不安を感じたり精神的に疲れたときなど、気軽に保健センターを利用するようお勧めください。なお、保護者の方からのご相談にも応じていますのでご利用ください。

#### 定期健康診断

全学年を対象に定期健康診断を実施しています。学生健康診断の実施は学校保健安全法で定められており、病気の予防措置などを目的としています。健康診断の結果によっては呼び出しを行います。「Smile Sagami」の個人宛てお知らせを必ず確認するようお声がけください。学生本人に連絡が取れない場合は保護者に連絡する場合があります。

#### 健康支援

- 病気やけがの応急手当 ※医療機関の受診が必要な場合があります。保険証は本人が所持するようご指導ください。
- 感染症対策、生理痛、アルコール、禁煙、薬物依存などに関連した保健活動
- 学校医(内科 1回/月)、精神科医(1回/週 ※授業期間のみ 要予約)による健康相談(医師不在時はスタッフがお話を伺います) ※相談日など詳細については「Smile Sagami」でお知らせしています。
- 病気や障がいによる学校生活上の支援

#### 学校感染症予防について

大学生活を安全に過ごすためのひとつとして、感染予防対策をお願いします。手洗い・手指消毒、マスク着用や咳エチケットなどの基本的な感染予防対策の徹底を、ご家庭でもご指導ください。感染時は出席停止です。

上記に該当する場合は保健センターへの連絡をお願いいたします。詳しくは保健センターへお問い合わせください。

また、大学での集団感染防止のため、以下の感染症については母子手帳で予防接種歴の確認をお願いします。抗体価が十分でない場合は予防接種をご検討ください。

- 麻疹 ● 風疹 ● 水痘(みずぼうそう)

- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

※MRワクチンは麻疹と風疹の混合ワクチンです。

※一部の学科では、抗体価が不十分な場合は実習に参加できません。

#### 学生教育研究災害傷害保険

全学生を対象に、Bタイプ(1200万)通学特約に加入しています。正課中の講義、実験、実習、学校管理下で実施される行事中に生じたけがが対象となります。けがをした際の事故受付は以下のLINEから登録となります。個人で任意加入する学生総合保険などについては大学への申請は不要です。ご自身で保険会社に問い合わせをお願いします。詳細については、入学時配付の『学研災公式アプリ(SkettBook)登録案内用チラシ(兼加入者のしおりチラシ)』をご覧ください。

問い合わせ先 **保健センター**  
**042-747-9072** (直通)

開室時間: 平日9:00~18:00/9:00~17:00(授業・テスト期間外)

土曜日9:00~12:30 場所: 夢をかなえるセンター3階

#### 新型コロナウイルス感染報告フォーム

URL: <https://req.qubo.jp/sagami-wu/form/coronareport>

### 学生相談室より

学生相談室では、学生がこころ豊かに充実して学生生活を送ることが出来るよう、臨床心理士の資格をもったカウンセラーがしっかりとお話を伺い、サポートしていきます。

対面相談、電話相談、遠隔(オンライン)相談が可能です。

※遠隔(オンライン)相談は学生が対象です。

- 学業について ● 進路について ● 心の健康について
- 対人関係について ● 生活上の問題について
- サークルについて ● その他どのようなことでも構いません

特に相談がなくても、談話室でゆっくりと静かな時間を過ごすことができます。気軽に学生相談室を利用するようお勧めください。ご家族からの学生についてのご相談もお受けします。相談内容について秘密は守られます。

問い合わせ先 **学生相談室** **042-746-6672** (直通)

開室時間: 月~金 10:00~17:00 場所: 1号館2階

#### 遠隔相談申し込みフォーム

URL: <https://req.qubo.jp/sagami-wu/form/ftHzMKs0>

## 2024年度 出願可能な奨学金制度のご案内

- 1 日本学生支援機構給付奨学金および学費減免(修学支援新制度)
- 2 日本学生支援機構貸与奨学金
- 3 日本学生支援機構奨学金(家計急変向け)
- 4 相模女子大学奨学金
- 5 相模女子大学緊急給付奨学金
- 6 相模女子大学同窓会翠葉卒業時緊急奨学金

※詳細は、本学ホームページ(ホームページ > キャンパスライフ > 奨学金)をご覧ください。併せて、日本学生支援機構奨学金については、日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先 **1~5**学修・生活支援課: **042-813-5069** **6**同窓会翠葉事務局: **042-742-1737**

### 2024(令和6)年度 学年暦【大学】

2024(令和6)年	9月18日(水) 秋学期履修科目追加登録期間(二次募集)
3月22日(金)~26日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月19日(木) 秋学期他学部・他学科科目登録
4月1日(月)~3日(水) 新入生オリエンテーション、 春学期Web履修科目登録指導・ 登録期間(新入生)	9月20日(金) 秋学期授業開始
4月2日(火)~4日(木) 健康診断(在学生)	9月23日(月)祝日(振替休日) 祝日授業
4月4日(木) クラス会(新入生)	9月27日(金) 秋学期履修科目追加・訂正
4月5日(金) 入学式	10月14日(月)祝日(スポーツの日) 祝日授業
4月8日(月) 健康診断(新入生) 春学期Web履修科目確認日	10月18日(金) 創立記念日
4月9日(火) 春学期履修科目追加登録期間(二次募集)	11月2日(土)~5日(火) 相生祭(2日準備、5日片付け) 授業なし
4月10日(水) 春学期他学部・他学科科目登録	12月24日(火) 秋学期前半授業終了
4月12日(金) 春学期授業開始	12月25日(水)~1月14日(火) 冬季休業
4月19日(金) 春学期履修科目追加・訂正	2025(令和7)年
4月29日(月)祝日(昭和の日) 祝日授業	1月15日(水) 秋学期後半授業開始
5月28日(火) 授業なし(併設体育祭)	1月22日(水)~28(火) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
7月15日(月)祝日(海の日) 祝日授業	1月28日(火) 秋学期授業終了
7月24日(水)~30日(火) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	1月29日(水)~31日(金) 秋学期末定期試験期間
7月31日(水)~8月2日(金) 春学期末定期試験期間	2月18日(火) 卒業年次生成績発表
8月3日(土)~9月19日(木) 夏季休業	3月7日(金) 卒業式
9月6日(金) 春学期成績発表、 在学生オリエンテーション	3月11日(火)~12日(水) 在学生成績発表 在学生オリエンテーション
9月9日(月)~11日(水) 秋学期Web履修科目登録期間	3月21日(金)~25日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月13日(金) 春学期末卒業式	
9月17日(火) 秋学期Web履修科目確認日	

### 2024(令和6)年度 学年暦【短大】

2024(令和6)年	9月18日(水) 秋学期履修科目追加登録期間(二次募集)
3月22日(金)~26日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	9月19日(木) 学内単位互換科目登録
4月1日(月)~3日(水) 新入生オリエンテーション、 春学期Web履修科目登録指導・ 登録期間(新入生)	9月20日(金) 秋学期授業開始
4月2日(火)~4日(木) 健康診断(在学生)	9月23日(月)祝日(振替休日) 祝日授業
4月4日(木) クラス会(新入生)	9月27日(金) 秋学期履修科目追加・訂正
4月5日(金) 入学式	10月14日(月)祝日(スポーツの日) 祝日授業
4月8日(月) 健康診断(新入生) 春学期Web履修科目確認日	10月18日(金) 創立記念日
4月9日(火) 春学期履修科目追加登録期間(二次募集)	11月2日(土)~5日(火) 相生祭(2日準備、5日片付け) 授業なし
4月10日(水) 学年単位互換科目登録	12月24日(火) 秋学期前半授業終了
4月12日(金) 春学期授業開始	12月25日(水)~1月14日(火) 冬季休業
4月19日(金) 春学期履修科目追加・訂正	2025(令和7)年
4月29日(月)祝日(昭和の日) 祝日授業	1月15日(水) 秋学期後半授業開始
5月28日(火) 授業なし(併設体育祭)	1月22日(水)~28(火) 秋学期最終授業週および 秋学期末定期試験期間
7月15日(月)祝日(海の日) 祝日授業	1月28日(火) 秋学期授業終了
7月24日(水)~30日(火) 春学期最終授業週および 春学期末定期試験期間	1月29日(水)~2月1日(土) 秋学期末定期試験期間
7月31日(水)~8月3日(土) 春学期末定期試験期間	2月18日(火) 卒業年次生成績発表
8月4日(日)~9月19日(木) 夏季休業	3月7日(金) 卒業式
9月6日(金) 春学期成績発表、 在学生オリエンテーション	3月11日(火)~12日(水) 在学生成績発表 在学生オリエンテーション
9月9日(月)~11日(水) 秋学期Web履修科目登録期間	3月21日(金)~25日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)
9月13日(金) 春学期末卒業式	
9月17日(火) 秋学期Web履修科目確認日	

# 後援会で助成している学生の活動紹介

## 地域活動

### 糸島プロジェクト

糸島プロジェクトとは、近年SNSやテレビで話題の福岡県糸島市をフィールドに「女性の働き方」を研究しているプロジェクトです。活動内容として以下の3つがあります。

①インタビュー調査

糸島に在住する方を対象にインタビューを行い、今後の人生について学ぶことが出来ます。また、大人の方とコミュニケーションをとることで、社会で必要とされるコミュニケーション能力をつけることが出来ます。

②SNSでの情報発信

インスタグラムを使用し、糸島の魅力発信や活動内容を紹介しています。ターゲットとしては、20-30代の女性で、移住を考えている人、糸島へ旅行したいと考えている人を対象に情報発信を行っております。

③糸島プロジェクトプラットフォームの構築と活用

これまでに糸島プロジェクトに参加した上級生や卒業生と交流できる



市長表敬訪問の様子

糸島訪問時に見た綺麗な景色

プラットフォームを構築します。交流を通して、コミュニケーション能力や人脈の構築を広げることが出来ます。

糸島へ訪問した際には、糸島市長表敬訪問をし、3日間の感想や感じたこと、これまでの活動内容の報告をしました。本プロジェクトを通して、就職や、さらに先の今後の人生について考えることが出来、とても貴重な経験をさせていただくことが出来ました。

糸島プロジェクト 田中 琴巳

### 復興支援学生ボランティア委員会

復興支援学生ボランティア委員会は、2011年の東日本大震災が発生した当時に大船渡で炊き出しを行い、そこから現在にもつながる活動が始まりました。現在は復興が終わり、大船渡の魅力発信を目的として様々な学部・学科の学生が集まり活動しております。

1年に2回大船渡へ訪問し、漁業体験をしたり現地の方と交流したりと人とのつながりを大切に活動しています。先輩方が新たに始めたSNSでの情報発信を現在も続けており、YouTubeやInstagramを活用し、実際に訪れたお店や場所など学生の目線から魅力を発信しています。

また、今年度は初めての試みとして、11月の相生祭にてスイーツの販売を行いました。年度当初にメンバーから「学園祭で出店したい!」と声が上がリ、そこから約半年間かけて大船渡のお菓子屋さんとのオンラインミーティング等を通し、メンバーの声を反映しながら、11月に



大船渡市を訪れた時

学園祭に「おおふなトン」が来てくれました

は学園祭でコラボスイーツを販売し大盛況で終わることができました。

10年以上の歴史があるこの委員会の大切にしたい軸は変わらずに、その時代にあった方法を考え活動に取り組んでいます。今後も人とのつながりを大切に大船渡の魅力を発信して参ります。

復興支援学生ボランティア委員会 委員長 武井 ひなぎ

## 大学祭実行委員会活動

大学祭実行委員会では、9つの局に分かれて毎年開催される相生祭の準備と当日の運営をしています。私たちは、5月から本格的に活動が始まり相生祭に参加される団体さんへの説明会を開いたり、当日の運営方法や細かい内容を決めたり、資料提出の期限を決めたりと各局の学生が主体となって相談しながら準備を進めています。当日は、相生祭の運営をメインに各局の委員が正門付近でパンフレット配布や模擬店の運営方法、メインステージでの当日のスケジュール管理やトークショーの運営、ゴミ回収、警備・巡回などのことを委員一丸となって行っています。当日に、片付けや貸し出したものの返品、調理室で使った教室の清掃など各

局によって片付けの作業は違いますが、基本片付けはその日のうちに委員全員で片付けるように心掛け、局により片付けの量に差が出るので片付けが終わった局が終わっていない局と協力し合いながら最後まで学生が主体となって行っています。

大学祭実行委員会 委員長 池野 紹実



相生祭閉会後の花火

## クラブ活動

### アーチェリー部

アーチェリー部は個人の空きコマを活用して、クラブハウスたちばな近くの大学アーチェリー場にて活動しております。部員数は現在11名おり、全員未経験からスタートしました。活動内容は近射・18m~30m練習、備品点検をしており、大会出場を目指して練習に励んでおります。

また、毎年相生祭で模擬店を出店しております。今年度の大学祭では「もやしお好み焼き」を販売し、当初予定していた200食から2倍の400食を売り上げました。こうした模擬店での販売によって部費を賄っているため、アーチェリー部では部費徴収を行っておりません。さらに、弓具や練習時着用する専用のジャージは後援会や大学からの補助金で賄っており、新たに個人で弓具を購入することなく、身一つですぐに活動が始められる環境が整っております。



30mからの練習風景

大学祭の模擬店看板作成風景

最後になりますが、日々活動を支えてくださる大学関係者の方々や後援会の方々には大変感謝しております。今後ともアーチェリー部の活動を見守ってくださると幸いです。

アーチェリー部 部長 寺口 楓梨

### ダンスクラブ EASTER

ダンスクラブEASTERは毎週土曜日に活動しています。部員の中には大学からダンスを始めた初心者も多く在籍しています。

EASTERは、大学内で1番人数が多いサークルであり、2023年度は、1年生は4人、2年生は17人、3年生は5人、4年生は6人の4学年で合わせて32人で毎週楽しく活動しています。

活動内容は、アイソレ・アップ・ダウンの基礎練習、ヒップパートとジャズパートに分かれて振りを考えたり、hip-hopやKPOPとコピーを踊ったり振りのジャンルも様々です!

活動日は主に土曜日です。長期休みには、主に水曜日と土曜日に活動日数を増やして練習に励んでいます。1年で最も大きい発表の場である相生祭に向けて夏休みは練習を頑張っています。



相生祭本番直前に衣装となる部TEEに着替えて撮った写真です!緊張しながらも笑顔で撮った2枚になります!

す!テスト期間は活動を休止しています。そのため、勉強やアルバイトなどの両立している部員がほとんどです。

今後も、ダンスを頑張りたい方、ダンスを始めたい方と一緒に楽しんでいきたいと考えております。

ダンスクラブ EASTER 部長 野田 桃葉

### かるた部

日頃から後援会の皆様にはご支援いただきありがとうございます。私たちかるた部は、現在は水曜日と金曜日に活動しております。活動に参加する部員や人数は日によって異なるため、寂しく活動することもあります。コーチにご指導いただいたり、学外からかるた選手をお招きしたりして、練習に励んでおります。

相生祭では、午前に来場者の方々に試合をご覧いただき、午後には来場者の方々と源平合戦を行いました。慣れないことばかりで最初は戸惑いましたが、来場者の皆様楽しんでいただけたように部員と協力して取り組みました。子どもから大人まで多くの方にご覧・ご参加いただき、皆様が楽しむ姿を見られたことは嬉しく思っております。

団体として活動を続けていくことは容易ではありませんが、部員全員が心地よく過ごせるように、今後も皆で話し合い、協力して活動してまいります。



払い練をしている様子

最後になりますが、日々私たちを見守り、活動を支えてくださる大学関係者の方々、コーチには大変感謝しております。今後ともかるた部の活動を見守ってくださると幸いです。

かるた部 部長 宮野 由実

## 2023(令和5)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生(個人および団体)を、大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

### 個人

個人名	所属学科	表彰内容・理由
崎廣 みな	日本語日本文学科 4年	オープンキャンパス学生スタッフとして素晴らしいリーダーシップを発揮し、大学の募集活動に大きく貢献した。当該学生に会うためにオープンキャンパスに来る受験生が何名もあり、また、当該学生へ合格の報告とお礼を伝えるためにオープンキャンパスに来る受験生もいた。さらに、オープンキャンパス学生企画ではトークショーの準備から本番までを取り仕切り成功に結び付けた。
芹澤 夏海	社会マネジメント 学科4年	3年次に相模原市消防局の自転車事故防止啓発動画CM制作プロジェクトに応募し、見事に企画を通して、好評を得た。また、4年次に社会マネジメント学科の宣伝ポスターを一人で約20種類作成し、オープンキャンパスで展示したことで、受験生との会話のきっかけとなった。さらに、小田急線内の車内と海老名駅自由通路に流れる学科CMも手がける等、類を見ない活躍を見た。
橋本 あんず	人間心理学科 3年	5歳から始めた競技一輪車で今に至るまで研鑽を続け、以下の優秀な成績を収めた。 フランス開催世界大会フリースタイルペア部門(UNICON20 Freestyle Pair Expert) 優勝(2022年8月)、全日本一輪車競技大会ソロ演技部門 女子総合優勝(2023年11月)また、シルク・ドゥ・ソレイユの公演(2023年5月 VIZION by CIRQUE DU SOLEIL サウジアラビア公演)に帯同し、一輪車のパフォーマーとしても活動の幅を広げている。
酒井 華代	健康栄養学科 3年	2022年度より舞踏研究部長として部をまとめながら、自身も積極的に大会に出場し、2023年度には以下の優秀な成績を収めた。 第125回東都大学学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第2位、第111回東都日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第3位、第126回東都大学学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第2位、第112回東都日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 第3位、第69回全日本学生競技ダンス選手権大会 ルンバの部 優勝
大湊 唯	管理栄養学科 2年	ダブルダッチサークルに所属し、世界大会を目指す大学生らと共に5名のチームを組み、2023年度には以下の優秀な成績を収めた。 Double Dutch Contest Japan2023(ダブルダッチ全国大会)準優勝、Double Dutch Contest World2023(ダブルダッチ世界大会)日本代表チームとして出場し第5位(2023年7月) 学業との両立が困難な中、時間を捻出して勉学に励み、管理栄養学科の学生として適切な食事や食生活を実践し、チーム仲間にも共有した。また、世界大会への出場の際はクラウドファンディングを立ち上げるなど、「発想女子」として魅力ある姿を見せた。

### 団体

団体名(所属学科)	表彰内容・理由
プロジェクト団体 「復興支援学生ボランティア委員会」 (日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・子ども教育学科・人間心理学科・メディア情報学科)	東日本大震災発生後の2011年6月に、炊き出しボランティアとして岩手県大船渡市を訪問したことをきっかけに発足したプロジェクトであり、震災から10年以上経過した現在は、SNSを活用し、同市の魅力を伝えるPR活動や、震災の記憶を後世に伝える活動等を行っている。今年度は、同市の銘菓とのコラボスイーツを開発し、相生祭や相模原農業まつりにて販売すると共に、相模原市社会福祉協議会へ贈呈した。また、幼稚部にて、同市の市花「椿」を題材にした紙芝居を園児に読み聞かせする等、学園内での新たな交流機会を創出した。これらの活動の一部は複数のメディアにて掲載された。
2023年度相模女子大学中央執行委員会 (子ども教育学科・社会マネジメント学科・人間心理学科・健康栄養学科・管理栄養学科・食物栄養学科)	これまで停滞していた委員会活動を活発化し、来年度につながる活動を行った。入学式の記念品の決定・準備・配布等の入学式の支援や、新入生歓迎会の準備・運営、卒業アルバムのデザイン・作成や卒業式の支援、春期学生大会の主催等の通常活動の他、新企画として、山梨県へのバスツアー、若手お笑いタレントによるお笑いイベント、ディズニーテーブルマナー講座、サガジョランチフェスを考案・実行し、多くの学生の参加を集め、関心を高めた。
ジオラマ絵本制作 (子ども教育学科)	「ジオラマ絵本を作ってみよう」という仲間が集まり、「やってみようこと」を単なるつぶやきで終わらせずに、実現に向けて計画を立て実行し、制作している。また、その制作過程を大学のインスタグラムにて配信し、大学の広報活動にも貢献している。現時点ではPart③まで配信しており、今後も完成までの様子を伝えていく予定である。 <ジオラマ絵本の制作過程を配信する本学入試課のインスタグラムアカウント> @sagami_wu_nyushi
「さがじょの四季クッキー」 パッケージデザイン・ ラベルデザインチーム (メディア情報学科) (連携学科・研究科：食物栄養学科、社会起業研究科)	「さがじょの四季」クッキーは、食物栄養学科と相模原市の菓子店「西洋菓子海援隊」との連携及び社会起業研究科有志のサポートにより、校内の自然をイメージしたクッキーとして卒業生、地域の人向けのお土産として開発された商品である。本デザインチームは、そのデザイン制作を任せられ、デザイン開発にあたり、初めに3つのグループに分かれ市場調査、印象評価、感性評価など探求した調査を行った。その後、デザイン制作の専門性を活かし個人制作として、梅、銀杏、桜、ほうじ茶4種類のクッキーのラベルデザイン、パッケージデザイン、商品解説のためのカードを1セットとし、21点を制作及び提案した。最終的に印刷工程等も踏まえて選定され、デザインが決定。販売に合わせ修正を重ね、相生祭での販売では好評を得て完売となった。校内の美しい四季をパッケージデザインとして伝えられたことは、大学のイメージ向上に貢献したと言える。
「ビジュアルデザインラボ・コントラスト」 (生活デザイン学科)	【おーのじかん】(相模大野まちなか手づくり体験工房)の公式キャラクター制作を手掛け、パンフレットやパペットへの展開を始め作品展示等を通して相模原市やその周辺地域の施設や店舗の情報発信に貢献した。また相模大野アートクラフト市の開催におけるイベントウェルカムボードのデザインを手掛ける等プロモーション活動にも貢献した。情報の視覚化による「デザインで貢献できること」をデザインの付加価値として成果発表することができた。
産学連携テキスタイル企画 「Rebo-n(リボン)」 (生活デザイン学科)	学生が2グループに分かれ2社の企業(繊維専門商社・再生プラスチック雑貨の取扱会社)と連携し、廃棄資材のアップサイクルに取り組み、アクセサリー・インテリア雑貨やアクセサリー・小物をデザインした。相生祭にて作品展を行い、また2024年2月に東京ビックサイトで開催された国内最大級の見本市である東京インターナショナルギフト・ショーの「Ethical Style Fair」に出展した。出展に伴い、作品制作の他にブースのデザインやカタログ制作も行った。

## 2023(令和5)年度 科学研究費助成事業採択状況

所属学科	教員名	職位	研究種目・研究課題名
日本語日本文学科	下田 章平	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 関西中国書画碑帖コレクション形成の研究―未刊資料の分析を中心として― 研究成果公開促進費(学術図書) 研究代表者 清末民初書画碑帖収蔵研究
	宮原 志津子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 公共図書館員のコンピテンシー獲得を目的とした図書館実習ガイドラインとモデルの提案
	高木 信	教授	基盤研究(C) 研究分担者 玉里文庫本「古筆源氏物語」の本文と伝来の研究
英語文化 コミュニケーション学科	渡辺 幸倫	教授	基盤研究(B) 研究代表者 越境する日本人国際結婚家庭の教育意識―アジア五か国でのライフストーリーから
		基盤研究(C) 研究分担者 旧日本委任統治領「ミクロネシア地域」の歴史教育に関する研究	
		基盤研究(C) 研究分担者 ミクロネシアと周辺地域の近現代史教育に関する研究―相互理解の形成を目指して	
		基盤研究(C) 研究分担者 インバウンド旅行者のための日本英語学習教材の開発：話者同士の平等性希求の観点から	
	九里 徳泰	教授	基盤研究(C) 研究代表者 日本における女性社会進出と企業活動―女性社会進出指標と企業パフォーマンスを中心に
宮本 節子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 インバウンド旅行者のための日本英語学習教材の開発：話者同士の平等性希求の観点から	
赤塚 祐哉	講師	若手研究 研究代表者 英語授業で批判的思考力を育む教育方法の開発―国際バカロレアの英語科目を切口に―	
子ども教育学科	宇田川 久美子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 保育における遊びの“おもしろさ”に関する研究
	中内 麻美	講師	基盤研究(C) 研究代表者 インクルーシブ保育実践の可視化における自然的発達行動介入の応用可能性の検討
	七海 陽	准教授	基盤研究(B) 研究分担者 デジタル・シティズンシップ育成に資する保護者による幼児への介入―発達段階への着目
	東都 ガーボル (Toth Gabor)	教授	基盤研究(C) 研究分担者 注意欠如多動症のある児童生徒における腸内細菌叢と運動能力
荻本 快	准教授	若手研究 研究代表者 メンタライジングを測定する内省機能尺度(RFQ)の日本語版の開発	
メディア情報学科	池下 花恵	教授	基盤研究(C) 研究代表者 創作アプリが言語活動にもたらす要因と読み書き支援への応用
		基盤研究(C) 研究代表者 子どものための利用しやすい書籍を活用した読書環境の情報検索システムの開発	
	金 相賢	講師	基盤研究(C) 研究代表者 VR空間における視差量操作が認知過程に及ぼす影響
	加藤 由樹	教授	基盤研究(C) 研究分担者 デジタル市民教育のためのSNSにおける誹謗中傷に関する基礎研究とシステム開発
		挑戦的研究(萌芽) 研究分担者 グローバル市民性養成を目指すAI型オンライン評価システムの開発	
塚田 修一	准教授	基盤研究(C) 研究分担者 「限界芸術」化するアイドルの資料アーカイブ整備及び総合的なメディア文化史的研究	
生活デザイン学科	門屋 博	教授	基盤研究(C) 研究分担者 アンビルト作品の可視化に向けた創造的アート・アーカイブの試み
	角田 千枝	教授	基盤研究(C) 研究分担者 乳がん患者の衣服選択を支援するスマートミラー開発のための基礎研究
社会 マネジメント学科	木本 玲一	教授	基盤研究(C) 研究代表者 太平洋戦争期の日本のボクシングに関する研究：統制と競技の実践
	中西 泰子	教授	基盤研究(C) 研究代表者 家族意識の長期的変容における地域性の関連メカニズムの解明
		基盤研究(B) 研究分担者 食物アレルギー患者とその家族が経験する困難についての混合研究	
	肥後 梨恵子	講師	基盤研究(C) 研究代表者 大学におけるボランティア教育(サービスマーケティング)の深化による市民力育成の開発
	松崎 吉之助	准教授	基盤研究(C) 研究代表者 持続可能な民生委員活動支援のための基礎的研究―生活と活動の両立課題の分析―
基盤研究(B) 研究分担者 医療機関を起点とした生活課題をもつ人への地域連動型支援プログラムの開発研究			
湧口 清隆	教授	基盤研究(C) 研究代表者 観光列車と沿線地域の持続可能性―協働メカニズムの「見える化」に関する実証研究―	
人間心理学科	伊東 俊彦	教授	基盤研究(C) 研究代表者 当事者性とその表現―精神障害当事者のアート活動についての哲学的研究
	日戸 由川	教授	基盤研究(C) 研究代表者 自閉スペクトラム症児者同士の仲間集団が社会性の発達とQOLに及ぼす影響
	山本 絵里子	講師	基盤研究(C) 研究代表者 教育学的リズムダンスの創作：発達認知科学的研究
	後藤 和宏	教授	基盤研究(B) 研究分担者 メタ認知の適応的意義を探る：構成論的手法による仮説探索と実験による検証
	芝田 征司	教授	基盤研究(C) 研究分担者 自然体験活動による健康促進：自然との心理的つながりを媒介変数として
	山本 絵里子	講師	若手研究 研究代表者 舞踊の発達の起源の検討：舞踊の階層性に関する発達認知科学的研究
健康栄養学科	榎本 ヒカル	教授	基盤研究(C) 研究代表者 「住まい方知」の構成要素把握と住居学学習のこれからのあり方に関する研究
		基盤研究(C) 研究分担者 和の住まい方教育に関する基礎的研究～和の生活文化の継承と創造を目指して～	
	堤 ちはる	教授	基盤研究(B) 研究分担者 ハイリスク乳児に対する食物アレルギー発症予防のための離乳食開発研究
	海和 美咲	助手	若手研究 研究代表者 疑似的他者の存在によるおいしさや脳活動の変化についての研究
吉田 明日美	講師	若手研究 研究代表者 心理的ストレスとエネルギーバランスの正負の関連及び内的・外的要因の寄与の解明	
管理栄養学科	黒岡 尚徳	教授	基盤研究(C) 研究分担者 消化管上皮の発生・分化原理の理解に基づく化生発症メカニズムの解明
	今井 敦子	講師	若手研究 研究代表者 母マウスの食餌誘導性肥満が仔マウスの「免疫老化」に及ぼす影響
食物栄養学科	笹田 周作	教授	基盤研究(C) 研究代表者 四肢の体性感覚制御によるスプリントパフォーマンス改善の試み